

図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

高津図書館橘分館長 山田 哲郎

■『父と子の多摩川探検隊 ー河口から水源へー』

遠藤 甲太 著

暇つぶしは、本屋に寄って本を見て回ることが多いです。見ていただけのつもりが、タイトルや表紙の雰囲気や衝動買いをしてしまうことも。しかし、買ったことに満足して、ほとんどが“本棚の肥やし”と化しています。そんな私が、今回このコーナーを担当することになり、さて、何を書こうかと思案しながらも、我が家の積読（つんどく）書の中から探す気にはならず、当館の予約書棚を見ていて発見したのが、この「父と子の多摩川探検隊」です。

詩人・エッセイストである著者が、中学生の息子と連れ立って、2003年の春から1年あまりをかけて、親子で多摩川の河口から水源までの旅をした旅行記です。実は、私も山好きな友人とかつて多摩川の水源を訪ねた（2005年の夏から冬にかけて）ことがあり、思わず懐かしさにこの本を手にとったという次第です。

著者は、12歳のときから詩作と山登り（岩登り）を始め、中学・高校のころは奥多摩の谷々に足繁く通い、後にカラコルム・ラトック1峰をはじめ、谷川岳などで数多くの岩壁の初登攀記録をもっている強者です。

この本の特徴的なところは、著者の主観と息子との対

話で進行し、その部分は明朝体で表現しながら、これに対する息子の独白をゴシック体で描いていることです。また、著者が言うところの“図鑑オタク”である息子によって多摩川の生態系が説明され、博識な著者は、多摩川各所の由来やエピソードを語るという手法で多摩川への興味をそらせてくれます。

低流域のなじみ深い多摩川を改めて知る良い機会となる

とともに、上流域はかなりハードな山行が描かれており、まるで、自分が多摩川を探検しているような気分になさてくれた一冊です。



父と子の多摩川探検隊
遠藤甲太著 平凡社

■高津図書館橘分館（プラザ橘）

館から数分という最寄駅はありません。JR武蔵新城駅、武蔵溝ノ口駅又は武蔵小杉駅からバスで20分から30分かかります。「子母口住宅前」のバス停を下車して、さらに徒歩8分。ちょっと不便ですが、橘地区は、豊かな自然があり、都市農業が盛んに行われ、さまざまな史跡など歴史資産を有する地域です。

のどかな佇まいの「プラたち」（プラザ橘）は、地域の子どもからお年寄りまでたくさんの方にご利用いただいているほか、すぐお隣の横浜市からいらっしゃる利用者も多いです。

毎週水曜日に開催する読み聞かせボランティアによる「おはなし会」や季節ごとに開催する「親子で楽しむおはなし会」など行っています。お近くに来られた時は、ぜひお立ち寄りください。

おかげさまでプラザ橘は
10月7日で開館25周年を迎えます。

25th

地域資料企画展 明治150年と川崎

平成30年（2018年）は、明治元年から満150年目にあたります。

川崎市立図書館では、各館（分館・閲覧所を除く）巡回で「明治時代の川崎」をテーマに、当時の風俗が読みとれる錦絵や村ごとの古地図などをそろえた展示を実施しています。

今後の巡回日程は次のとおりです。

- ◆ 麻生図書館 9月24日（月）～10月 7日（日）
- ◆ 幸図書館 10月17日（水）～11月18日（日）
- ◆ 多摩図書館 11月23日（金）～12月 3日（月）
- ◆ 川崎図書館 12月 8日（土）～12月25日（火）

※中原図書館・高津図書館・宮前図書館は終了いたしました。



神奈川県立川崎図書館との連携イベント

今年高津区内に移転した神奈川県立川崎図書館と、中原図書館の合同見学会を実施予定です。

【実施日時】平成30年12月1日（土）

※スケジュール等詳細については、後日館内掲示やチラシ等でお知らせいたします。

編集・発行 川崎市立中原図書館

〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301

TEL044-722-4932

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413)

麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550)

橘分館(788-1531)

幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918)

田島分館(333-9120)

柿生分館(986-6470)

中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400)

日吉分館(587-1491)

菅閲覧所(946-3271)